

平成25年度地方債計画（案）

平成24年9月7日

【通常収支分】

（単位：億円、％）

項 目	平成25年度 計画額(案)(A)	平成24年度 計画額 (B)	差 引 (A)-(B) (C)	増 減 率 (C)/(B)×100
一 一般会計債				
1 公共事業等	18,258	18,630	△ 372	△ 2.0
2 公営住宅建設事業	1,150	1,174	△ 24	△ 2.0
3 災害復旧事業	290	290	0	0.0
4 教育・福祉施設等整備事業	3,744	3,821	△ 77	△ 2.0
5 一般単独事業	15,138	15,447	△ 309	△ 2.0
6 辺地及び過疎対策事業	3,264	3,297	△ 33	△ 1.0
7 公共用地先行取得等事業	462	472	△ 10	△ 2.1
8 行政改革推進	2,290	2,400	△ 110	△ 4.6
9 調 整	100	100	0	0.0
計	44,696	45,631	△ 935	△ 2.0
二 公営企業債				
1 水道事業	3,696	3,636	60	1.7
2 工業用水道事業	232	276	△ 44	△ 15.9
3 交通事業	1,721	2,356	△ 635	△ 27.0
4 電気事業・ガス事業	102	70	32	45.7
5 港湾整備事業	543	618	△ 75	△ 12.1
6 病院事業・介護サービス事業	3,249	3,374	△ 125	△ 3.7
7 市場事業・と畜場事業	638	759	△ 121	△ 15.9
8 地域開発事業	721	1,304	△ 583	△ 44.7
9 下水道事業	11,754	11,908	△ 154	△ 1.3
10 観光その他事業	81	131	△ 50	△ 38.2
計	22,737	24,432	△ 1,695	△ 6.9
三 臨時財政対策債	65,121	61,333	3,788	6.2
四 退職手当債	2,000	3,700	△ 1,700	△ 45.9
五 国の予算等貸付金債	(1,171)	(1,195)	(△ 24)	(△ 2.0)
総 計	(1,171)	(1,195)	(△ 24)	(△ 2.0)
内 訳				
普通会計分	112,802	111,654	1,148	1.0
公営企業会計等分	21,752	23,442	△ 1,690	△ 7.2
資金区分				
公 的 資 金	55,100	55,405	△ 305	△ 0.6
財政融資資金	36,000	36,188	△ 188	△ 0.5
地方公共団体金融機構資金	19,100	19,217	△ 117	△ 0.6
(国の予算等貸付金)	(1,171)	(1,195)	(△ 24)	(△ 2.0)
民間等資金	79,454	79,691	△ 237	△ 0.3
市場公募	44,400	44,400	0	0.0
銀行等引受	35,054	35,291	△ 237	△ 0.7

その他同意（許可）の見込まれる項目

- 1 資金区分の変更等を行う場合において発行する借換債
- 2 地方税等の減収が生じることとなる場合において発行する減収補填債
- 3 財政再生団体が発行する再生振替特例債

（備 考）

- 1 「東日本大震災分」に係る地方債計画については、別途策定するものとする。
- 2 公債費負担対策については、別途検討するものとする。
- 3 財政融資資金の償還期限については、下水道事業等所要の事業について改善を図るものとする。
- 4 国の予算等貸付金債の（ ）書は、災害援護資金などの国の予算等に基づく貸付金を財源とするものであって外書である。

平成25年度地方債計画（案）について

1 策定方針

平成25年度の「通常収支分」に係る地方債計画（案）は、以下の考え方により策定している。

- ① 極めて厳しい地方財政の状況の下で、地域主権改革を推進し、地域に必要なサービスを確実に提供できるよう、地方財源の不足に対処するための措置を講じること。
- ② 地方公共団体が、必要性の高い分野への重点的な投資を行えるよう、所要の地方債資金の確保を図ること。
- ③ 「平成25年度予算の概算要求組替え基準について」及び「平成25年度地方財政収支の仮試算【概算要求時】」を踏まえること。

（注）地方財源の不足に対処するための臨時財政対策債及び財源対策債を計上しているが、本計画（案）については、これらを含め、平成25年度の国の予算編成の内容、地方財政をめぐる動向等に対応し、全体として所要の修正を行うこととしている。

また、「東日本大震災分」に係る地方債計画については、東日本大震災に関連する事業を円滑に推進できるよう、所要額について、その全額を公的資金で確保を図ることとし、別途策定するものとする。

2 計画額の規模等

平成25年度の「通常収支分」に係る地方債計画（案）における計画額の規模は、次表のとおり1兆3,554億円で、前年度計画額に比べ542億円、0.4%の減となっている。このうち、臨時財政対策債等の特別分を除いた通常分の総額は、5兆9,333億円で、前年度計画額に比べ2,430億円、3.9%の減となっている。

(1) 国庫補助負担事業に係る地方債の規模

上記策定方針を踏まえ、国庫補助負担事業に係る地方債については、全体として対前年度比2.0%程度の減を見込んでいる。

(2) 地方単独事業に係る地方債の規模

上記策定方針を踏まえ、地方単独事業に係る地方債については、全体として対前年度比2.0%程度の減を見込んでいる。

（注）地方単独事業に係る地方債の規模については、平成25年度の地方財政計画の策定過程において地域経済の動向、地方財政の状況等を勘案してなされる地方単独事業の規模の検討とあわせて、最終的な調整を行うこととしている。

(3) 公営企業会計等分に係る地方債の規模

公営企業会計等分に係る地方債については、上・下水道、交通、病院等住民生活に密接に関連する地方公営企業関係の社会資本整備を着実に推進するため、国庫補助事業の動向、地方公共団体の事業計画の動向等を踏まえ、所要額を計上している。

【通常収支分】

(単位：億円、%)

区 分	平成 2 5 年度 計 画 額 (案) (A)	平成 2 4 年度 計 画 額 (B)	差 引		増 減 率 (C) / (B) × 100
			(A) - (B)	(C)	
普通会計分	1 1 2, 8 0 2	1 1 1, 6 5 4		1, 1 4 8	1. 0
通常分	3 7, 5 8 1	3 8, 3 2 1	△	7 4 0	1. 9
特別分	7 5, 2 2 1	7 3, 3 3 3		1, 8 8 8	2. 6
臨時財政対策債	6 5, 1 2 1	6 1, 3 3 3		3, 7 8 8	6. 2
財 源 対 策 債	8, 0 0 0	8, 2 0 0	△	2 0 0	2. 4
退 職 手 当 債	2, 0 0 0	3, 7 0 0	△	1, 7 0 0	4 5. 9
調 整	1 0 0	1 0 0		0	0. 0
公営企業会計等分	2 1, 7 5 2	2 3, 4 4 2	△	1, 6 9 0	7. 2
総 計	1 3 4, 5 5 4	1 3 5, 0 9 6	△	5 4 2	0. 4
通常分	5 9, 3 3 3	6 1, 7 6 3	△	2, 4 3 0	3. 9
特別分	7 5, 2 2 1	7 3, 3 3 3		1, 8 8 8	2. 6

- (注) 1 平成25年度の国の予算編成の内容、地方財政をめぐる動向等に対応し、本計画(案)に所要の修正を行うこととしている。
- 2 臨時財政対策債については、「平成25年度地方財政収支の仮試算【概算要求時】」の財源不足額を基礎に計上している。
- 3 財源対策債については、「平成25年度予算の概算要求組替え基準について」及び「平成25年度地方財政収支の仮試算【概算要求時】」を踏まえて計上している。
- 4 退職手当債については、「平成25年度地方財政収支の仮試算【概算要求時】」の退職手当を基礎に計上している。
- 5 調整は、国庫補助負担金の一般財源化に伴う影響額に係る不交付団体への資金手当分及び地方法人特別税等による減収等に係る資金手当分である。

3 地方債資金の確保

地方債資金については、次表のとおり所要額を確保する。

【通常収支分】

(単位：億円、%)

区 分	平成 2 5 年度 計 画 額 (案) (A)	平成 2 4 年度 計 画 額 (B)	差 引		増 減 率 (C) / (B) × 100
			(A) - (B)	(C)	
公 的 資 金	5 5, 1 0 0	5 5, 4 0 5	△	3 0 5	0. 6
財 政 融 資 資 金	3 6, 0 0 0	3 6, 1 8 8	△	1 8 8	0. 5
地方公共団体金融機構資金	1 9, 1 0 0	1 9, 2 1 7	△	1 1 7	0. 6
(国の予算等貸付金)	(1, 1 7 1)	(1, 1 9 5)	(△)	2 4	(2. 0)
民 間 等 資 金	7 9, 4 5 4	7 9, 6 9 1	△	2 3 7	0. 3
市 場 公 募	4 4, 4 0 0	4 4, 4 0 0		0	0. 0
銀 行 等 引 受	3 5, 0 5 4	3 5, 2 9 1	△	2 3 7	0. 7
合 計	1 3 4, 5 5 4	1 3 5, 0 9 6	△	5 4 2	0. 4

- (注) 1 平成25年度の国の予算編成の内容、地方財政をめぐる動向等に対応し、地方債計画総額に変動が生じた場合等においては、各資金について所要の修正を行うこととしている。
- 2 市場公募資金については、借換債を含め8兆7,500億円(前年度比1兆2,500億円、16.7%増)を見込んでいます。
- 3 公債費負担対策については、別途検討するものとする。

連絡先

自治財政局地方債課
 担当：角田管理官、天野係長
 電話：(代表) 03-5253-5111
 (内線) 23392、23396
 (直通) 03-5253-5628
 (FAX) 03-5253-5631